

どうする？ 本県の短い夏休み

長野県民新聞20180905

原山隆一・県教育長は短い本県学校の夏休み期間の検討を提示した。「子どもたちの安全を守るため」がその理由。実際、本県学校の夏休みは他県に比べると極端に短いのが実態。さらに冬休みも短く、唯一、春休みだけが少々長い状況。その背景にあるのは、本県の学校行事を大切に
する風土。原山教育長は幅広い議論を促すが、検討すべき課題が多いのも事実だ。

夏休み、冬休みともに短い本県 春休みだけが少々長め 学校行事重んじる風潮背景に

表Ⅰには本県と北海道・東北及び世田谷区の長期休み状況を示した。

〈表Ⅰ〉 本県及び北海道・東北小中学校の長期休み等の日程

区分	学校種	夏休み		冬休み		春休み		期間計	比較
		期日	期間	期日	期間	期日	期間		
長野県	小	7/26～8/21	27	12/27～1/7	12	3/17～4/4	19	58日	基準 ±0
	中	7/27～8/21	26	12/27～1/8	13			58	
世田谷	小	7/21～9/2	44	12/26～1/7	13	3/26～4/5	11	68	+10
	中					3/26～4/8	14	71	+13
札幌市	小	7/26～8/19	25	12/26～1/20	26	3/26～4/7	13	64	+6
	中	7/26～8/26	32	12/26～1/14	20	3/26～4/8	14	66	+8
青森県	小	7/21～8/23	34	12/22～1/14	25	3/27～4/8	13	72	+14
	中	7/21～8/26	37					75	+17
秋田市	小	7/22～8/24	34	12/26～1/12	18	3/22～4/5	15	67	+9
	中	7/24～8/24	32			3/22～4/5	15	65	+7
盛岡市	小	7/26～8/20	26	12/22～1/16	26	3/22～4/5	15	67	+9
	中	7/26～8/17	23	12/26～1/14	20	3/14～4/4	22	65	+7
山形市	小	7/28～8/23	27	12/22～1/6	16	3/19～4/5	18	61	+3
	中	7/26～8/19	25	12/22～1/7	17	3/18～4/6	20	62	+4
仙台市	小	7/21～8/24	35	12/24～1/7	15	3/25～4/7	14	64	+6
	中								
福島市	小	7/21～8/24	35	12/23～1/8	17	3/24～4/5	13	65	+7
	中								

※「長野県」は県教委「学校経営概要のまとめ」で、最も比率の高いもので算出。
 ※「世田谷区」「札幌市」「福島市」「宇都宮市」はそれぞれ区・市が統一した日程で実施。
 ※上記以外の市については、各市の代表的小中学校の日程を記載。

夏休み状況から見れば、本県小学校の平均は27日、中学校は26日。このほか、札幌市の小学校と、盛岡市と山形市が30日以下の夏休みになっている。他はいずれも30日以上。

さらに冬休みの状況を見れば、こちらも本県が最も短くなっている。特に前述の札幌市と盛岡市は「ともに20日以上冬休みを設定。山形市も本県より4日長い。一方で春休みは、本県の長さが目立つ。本県は19日間だが、他県は概ね4～5日短くなっている。

整理すれば、本県の夏休みと冬休みは極端に短く、春休みが長い状況。また、春休みが長い本県ではあるが、高校入試の発表以前に、小中ともに休みになるのは本県のみ。他県では発表以降も授業が行われている。

次に総授業日数と学校行事の状況について見る。

表Ⅱ～Ⅳには、文科省の「教育課程の編成・実施状況調査」と、県教委の「学校経営概要のまとめ」から主なものを示した。文科省は27年度、県教委は今年度の調査結果。

まず**年間の総授業日数（表Ⅱ参照）**だが、全国では小・中ともに「196～205日」が最も多く、本県は「205日以上」が9割以上を占める。

〈表Ⅱ〉年間の総授業日数

区分		175日以下	176～185	186～195	196～205	205日以上
小学校	全国平均	0.4%	0.5	1.2	81.0	16.9
	長野県				0.8	99.2
中学校	全国平均	0.8	0.6	2.9	78.0	17.8
	長野県				7.0	93.0

その背景には、本県の学校行事を大切にする実態がある。「**児童会・生徒会活動の年間時数（表Ⅲ参照）**」は、小学校では、全国は「11～15時間」が最も多いが、本県は「21時間以上」が最多。中学校でも全国の「6～10時間」に対し、本県は「21時間以上」が半数以上を占めている。

〈表Ⅲ〉児童会・生徒会活動の年間時数

区分		5時間以下	6～10	11～15	16～20	21以上
小学校	全国平均	10.7%	17.2	31.3	20.9	20.0
	長野県		5.6	17.8	28.3	48.3
中学校	全国平均	24.9	34.6	19.6	10.7	9.5
	長野県		4.3	14.5	24.2	57.0

〈表Ⅳ〉 学校行事の年間時数

区分		40時間以下	41～49	50～59	60～69	70以上
小学校	全国平均	18.1%	19.5	25.0	20.5	16.8
	長野県		1.9	4.2	14.2	79.7
中学校	全国平均	45.8	19.9	15.1	9.5	9.0
	長野県		53.8	22.0	15.6	8.4

「学校行事」（表Ⅳ参照）も同様な状況。小学校では全国の「50～59時間」に対し、本県は「70時間以上」が最多。中学校も同様だが「登山や遠足等の学校行事に多くを割いている本県の状況が垣間見られる。

学校行事に関しては、その準備期間等で大きく見直しが進んでいるのが実情。加えて学校行事は本県の大きな特色であることも事実。とすれば、まずは春休み期間の見直しを考えたいところだ。